

小池藤左衛門顕彰碑



こいけとうざえもんけんしょうひぜんけい
↑小池藤左衛門顕彰碑全景



れいわ ねん こいけとうざえもん いとくけんしょうかい
令和2年に小池藤左衛門遺徳顕彰会により
たてられ きねんひ
建てられた記念碑→

こいけとうざえもん (小池藤左衛門さんって?)

○1718年(享保3)に起きた「館林騒動」の中心人物として処刑された田谷の名主(農村で行政を担当した村役人のリーダー)。

たてばやしそどう (館林騒動って?)

○1707年に館林城主となった松平清武が、一度破壊された館林城を再築するために必要となったお金を作るために、年貢を高くした(増税した)。

○1718年、米価が暴落して農民が困っているにもかかわらず、高額(こうがく)の年貢(ねんぐ)を集めようとしたため、名主や農民たちが集まって、まずは館林城に、次に江戸の館林藩主(えど たてばやしはんしゅ)の家に直接年貢の軽減(けいげん)をお願いに行った。結果、減税(げんぜい)に成功(せいこう)。

○1719年、騒動(そどう)の代表(だいひょう)である小池藤左衛門(こいけとうざえもん)ら3人(なぬし)の名主(たいほ)が逮捕(たしよけい)され、4月14日処刑された。

たてばやしひとびとすくういのちおとしこいけとうざえもんおどろくれいわじだい
館林の人々を救うために命を落とした小池藤左衛門。驚くべきは令和の時代
になっても改めて石碑(せきひ)が設置(せつち)されたこと。それだけ地域(ちいき)の人たち(ひとたち)から感謝(かんしゃ)され
る義人(ぎじん)だということです。館林(たてばやし)には、多々良(たたらえき)駅(ちかく)近く(おなじ)にも、同じ(おなじ)ようなこと
で命(いのち)を失(うしな)った義人(ぎじん)をなぐさめる「義民地蔵(ぎみんじぞう)」があります。